

日本救急医学会 関東地方会
令和6(2024)年度幹事会 議事録

日時：令和6年2月13日(火曜)16:00-17:00

場所：Zoom 開催

出席者(敬称略)

常任幹事：井上 貴昭(常任幹事長)、根本 学(会長)、中村 光伸、
中田 孝明、中川 儀英

監事：武田 宗和、河野 元嗣

幹事：出席 149名、委任状 14名(欠席 161名)

欠席：木下 浩作、武田 宗和、畝本 恭子、浅香 えみ子

事務局：加藤、鈴木(株式会社 Smart119)

1. 議事録署名人(今回)

井上常任幹事長によって、議事録署名人が指定された。

- ・根本常任幹事
- ・中田常任幹事

《報告事項》

1. 2023年度庶務報告(中村常任幹事)

中村常任幹事より資料に沿って報告された。総会員数 1,238名、新会員 152名、区分けとして名誉 新規者なし、医師 973名(新会員 106名：年会費免除者 40名を含む。)比較的功を奏したのかなと思います。看護師(新会員 27名)救急救命士(新会員 16名)その他職種(新会員 3名)となっており、会員推移を見て横ばいから 2021年、2022年、2023年と若干であるが増えてきているが、実は退会者 113名(申出 33名)となっている。

2021年度・2022年度未納の自然退会は 80名

2022年度・2023年度未納の自然退会対象の 160名(送信エラー・宛先不明名を除く、名)で自然退会を減らすように事務局も努力しており本年も【再送】する予定。

併せまして、幹事の先生方の周りで会費未納者がおられましたら会費納入を促していただけるようお願いいたします。

会員のご逝去

5名の会員のご逝去が報告され、黙祷がささげられた。

2. 2023年度決算報告(中村常任幹事)

中村常任幹事より資料に沿って報告された。収入 6,378,487円、支出 6,225,511円、2023年度の収支 152,976円と報告された。

2024年1月23日にオンラインで武田監査・河野監査・事務局で会計監査を実施した旨を河野監査より報告され、2023年度決算が承認された。

3. 関東災害連絡会議(根本常任幹事)

根本常任幹事より 2024年1月1日発災の能登半島地震に関して4月以降にアンケート調査を行い、関東災害連絡会議開催を予定と報告があった。

4. 編集委員会（根本常任幹事）

根本常任幹事より資料に沿って報告された。2023 年度学会全発表数は 175 件、発表論文投稿数 26 編、投稿率は 14.9%であった。査読継続中 9 編あり。

近年、投稿率の低下が残念。せつかく良い症例報告をしており、すべては症例報告から始まると考えているため、幹事の先生方には、所属の若い先生方へ論文投稿を促していただければと思います。

5. 救急隊部会・関東 MC 連絡会議（畝本常任幹事/井上幹事長代理報告）

井上幹事長により資料に沿って報告された。

・ 2 月 17 日の救急隊員学術研究会内において 15:50～17:50

関東地方会 MC 協議連絡会を二部構成で開催

第一部テーマ「指導救命士の現状と展望」

第二部テーマ「指導救命士制度のこれまでとこれから-指導救命士への期待-」

ご周知して頂ければと思います。

6. SOS-KANTO 委員会・多施設研究委員会（中田常任幹事）

中田常任幹事より資料に沿って報告された。

7 編の論文が発表された。

2 月 8 日に行われた会議の議事録が常任幹事会に間に合わなかったため、常任幹事会での審議が出来ていない。

会議では、1. 今後のスケジュール、2. 先行研究の整理、3. 2 次募集の進捗状況の確認、

4. 次回 SOS-KANTOstudy をどうするかを話し合われた。

今後、常任幹事会で SOS-KANTO2017 の後をどうするか議論が必要です。

アンケート結果を資料として添付しますのでご確認ください。

7. 日本救急医学会学生研修医部会関東支部（中田常任幹事）

中田常任幹事より資料に沿って報告された。

通称 SMAQ の関東支部は、研修医・学生向けに救急医療の裾野を広げていくことを目的として様々な活動を行っており、併せて、若手のリクルートを活発に行っています。

8. ホームページ（中川常任幹事）

中川常任幹事長より 1 年間の更新状況が資料に沿って報告された。

9. 第 74 回（令和 6（2024）年）日本救急医学会関東地方会（根本会長）

根本会長より資料に沿って報告された。

医師部会においては、専門医共通講習、救急科領域講習を認めて貰っています。

総演題数 201 演題、ランチョンセミナー 2 つ（共催 2 つ）、会員にとって有意義な 1 日を過ごして頂きたい。

10. 第 75 回（令和 7（2025）年）日本救急医学会関東地方会（木下次期会長井上幹事長代理報告）

井上幹事長より資料に沿って報告された。テーマ「そこに救う命がある限り ～転帰改善に向けて～」として開催準備中

11. 第 76 回（令和 8（2026）年）日本救急医学会関東地方会（井上幹事長/中川常任幹事）

井上幹事長より資料に沿って報告された。第 76 回（令和 8（2026）年）日本救急医学会関東地方会の会長を東海大学医学部附属病院 救急救命センター主任教授 中川儀英先生で決まった事。

中川常任幹事より開催日 2026 年(令和 8 年)2 月 7 日(土)、会場 小田原市 三の丸ホール、報徳会館を予定との報告がなされた。

12. 看護部会（淺香常任幹事/井上幹事長代理報告）

井上幹事長より資料に沿って報告された。

1. 施設代表者向けセミナー テーマ：「学会発表のお悩みを解決しよう」2023 年 11 月 11 日（土）10：00～11：30 に Zoom 開催した。
2. 看護部会シンポジウム テーマ：「【患者の安全を守ろう！予期せぬ急変死亡を防ぐ RRS～医療チームの初期対応を成果につなげよう～】2023 年 12 月 2 日(土)14:00～16:00 に Zoom 開催した。

参加者：57 施設 73 名（関東外 36%）。

《審議事項》

1. 2024 年度予算案について（中川常任幹事）

2023 年度予算・決算を元に 2024 年度予算を検討したとの説明があった。【収入の部】会費収入は会員 80%の納入を見込みとし、2023 年度予算と同等額とした。【支出の部】特筆すべきは、刊行費について 2023 年度は安く見積もりすぎたので 2024 年度は 200 万、ホームページ改定制作費 736,560 円をそれぞれ計上、その他は例年通りの予算組みであり収入合計 6,130,010 円、支出合計 7,781,550 円、収支 △1,651,550 円と報告され、2024 年度予算が承認された。

2. 新幹事推薦（井上常任幹事長）

井上常任幹事長によって、新幹事の推薦が行われた。今回の候補者 5 名（中島幹男先生、小川史洋先生、松本徹也先生、野垣文子先生、田口茂正先生）については、会員歴、会費納入状況等資格について事務局が調査済みであり、新幹事 5 名が承認された。

3. 名譽会員の推戴について（井上常任幹事長）

今回該当者なし。

※次回 2 名予定（松田 潔先生、畝本 恭子先生）

4. ホームページリニューアルについて（中川常任幹事）

中川常任幹事より資料に沿って報告された。

一番の目標であったスマートフォン対応で作成しました。本日（2 月 13 日）テストアップまで完了、資料にテストサイト（URL）がありますので皆様にログインしチェックして頂き感想等を頂ければと思います。2024 年 2 月 14 日から公開しますと報告され、承認された。

5. 議事録に関する会則変更について（井上常任幹事長）

井上常任幹事長より、より資料に沿って報告された。

現状に即した内容に変更及びホームページ掲載をする旨の報告がされ、承認された。

6. 事務局長に関する会則変更について（井上常任幹事長）

井上常任幹事長より、資料に沿って報告された。

現在、口座代表者が創成期の先生であり、本人が窓口に行くことが難しく名義変更が出来ない状態であり、新規に口座開設やはり開設時に常任幹事長名としても解約の際は本人が銀行に出向かなければならず、他学会の状況も踏まえ新たに事務局長を設け対応したい旨の報告がされ、会則変更が承認された。


以上


議事録作成：事務局 鈴木正敏

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

令和6年2月13日
日本救急医学会関東地方会 令和6(2024)年度 幹事会議事録

議長： 井上 貴昭 

議事録署名人： 根本 学 

議事録署名人： 中田 孝明 

[捨印]

